

堀川中七村と六島の戦争遺跡

8月21日(月) 10:00~11:30

「広島大学構内から出土した

遺物から語る戦争時代の暮らし」

第一回

「堀川中七村と六島の戦争遺跡」博物館学芸文化財調査部門
「戦争時代の暮らし」広島大学博物館

で医学部などがある霞ヶキャンパスの場所には、明治期から太平洋戦争の終わるまで、広島市警備隊司令部の六島陸軍飛行場が

あり、堀川中七村と六島の戦争遺跡が、戦争時代の暮らしを伝える重要な遺跡として、その重要性が認められています。

第二回

「堀川中七村と六島の戦争遺跡」

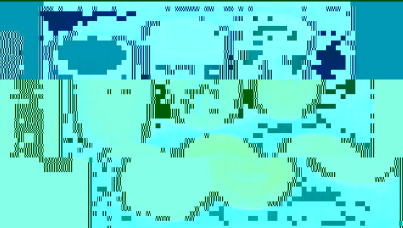
「戦争時代の暮らし」広島大学博物館
「戦争時代の暮らし」広島大学博物館



「堀川中七村と六島の戦争遺跡」博物館学芸文化財調査部門
「戦争時代の暮らし」広島大学博物館

「堀川中七村と六島の戦争遺跡」博物館学芸文化財調査部門
「戦争時代の暮らし」広島大学博物館

「堀川中七村と六島の戦争遺跡」博物館学芸文化財調査部門
「戦争時代の暮らし」広島大学博物館



●7月のロビー展示

「戦争を見てきた食器たち」

現在広島大学病院や医学部などがある霞キャンパスは、かつて陸軍の兵器支廠（武器弾薬の工場・倉庫）が、埋立倉庫として利用されていた。霞地区の